

ビート輸送が始まりました！

管外からも多くのダンプが、十勝管内に入っています
幹線道路・農道の交差点は、確実な一時停止と左右確認・・・
相手車両は、止まらないかもしれない！

ビート収穫期、大型車両の交通量増加！

輸送繁忙期、交通安全運動始まる
早まる日没、事故撲滅を

(2015年10月17日付け)

降雪前の産業追い込み期の交通事故撲滅を目指す、秋の輸送繁忙期の交通安全運動が15日からオホーツク管内18市町村で一斉に始まった。

管内では秋サケ・サンマの水揚げやビートの収穫が最盛期となり、トラックやトラクターなど大型車の交通量の増加が見込まれる。

一方、過密な輸送スケジュールに伴う過積載やスピード超過、居眠り運転に起因する重大事故の発生が懸念される。

◆路側帯に停車してる車両(バス・タクシー・子供の送り迎えの車)から◆
◆渡って来るかもしれない・・・、飛び出して来るかもしれない◆

ドライバーは、“こまめに休憩！” “重大事故”が発生してからでは、“遅い”

2時間ごとに、15分休憩！

十勝管内の労災事故 ⇒ “墜落・転落”が30%
“40歳～50歳台”の“ベテラン”が多い

○子供の飛び出しに要注意！
○スピードを落として、しっかり安全確認！

“1人で作業” 荷台からの“転落”、“はさまれ”注意

バック時は 降りて確認 乗っても確認

追突、玉突き事故を防ぐ 交差点手前で止まる時は、車1台分のスペースを空けて止まる

日没早まる秋、運転集中して！

今月の県内死亡事故、5人犠牲

◆ライトの「早目点灯」
◆こまめに「ハイビーム」に切りかえる
◆歩行者は、「夜光反射材」を活用

2015年10月17日(土)14時13分

山形県で14日午後に発生した事故で、ワゴン車に乗っていた男性が死亡した経緯を調べていた警察は16日、事故との因果関係が認められたと発表した。県警によると、今月に入り既に交通事故で5人が犠牲となる異常事態となっている。昨年も10月だけで9人が死亡しており、同様のペースだ。県警は「夕暮れが早まり、いっそう事故が起きやすくなっている。安全運転に集中してほしい」と警鐘を鳴らしている。例年、秋季は夕方以降の事故が多発する。日没は日を追うごとに早まっており、歩行者や自転車に気付くのが遅れ、重大事故につながる懸念される。同課は▽前照灯を早めに点灯する▽小まめにハイビームに切り替える▽夜間の外出時は夜光反射材を活用する一など安全運転と事故防止策の徹底を求めている。

石狩 酒気帯びで逮捕、釈放の日にもまた酒気帯びで追突

2015年10月18日(日)23時25分

北海道警は18日、会社員の男性(42)を、道交法違反(酒気帯び運転)などの疑いで現行犯逮捕した。警察によると、男は、前日の17日にも酒気帯び運転容疑で現行犯逮捕され、18日に釈放されたばかりだった。発表によると、男性は、18日午後2時20分頃、石狩市花川北の道路で、酒気を帯びた状態で軽乗用車を運転。信号待ちで停止していた軽乗用車に追突し、運転者に軽傷を負わせた疑い。男性は前日にも、同市内で酒気を帯びて軽乗用車を運転したとして現行犯逮捕されていた。

酒気帯び 交差点 信号待ち車に追突 ワゴン車など5台衝突、3人重軽傷

2015.10.18 21:05

18日午前7時20分ごろ、神戸市の交差点で、ワゴン車が、信号待ちをしていたバイクや乗用車に追突して、5台が絡む事故となり、1人が重傷、2人が軽傷を負った。警察は自動車運転処罰法違反(過失傷害)と道交法違反(酒気帯び)の疑いで、電気工事業の男性容疑者(49)を逮捕した。同署によると、バイクの大学2年の男性(21)が脚の骨を折る重傷で、他の2人も首などに軽傷。男性容疑者は「酒を飲んで帰宅途中だった。前を見ていなかった」と話しているという。